

2021年9月15日
商工中金

東北大学の研究シーズを事業化する スピンセンシングファクトリー株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間の要する分野に取り組む創業間もない中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（仙台支店）は、スピンセンシングファクトリー株式会社様（本社：宮城県仙台市、代表者：熊谷 静似様）に対し、高感度磁気センサ（TMRセンサ）を製造するために必要な設備資金2,000万円を融資しました。

同社は、東北大学が持つ研究シーズを事業化する企業です。東北大学が創立以来世界をリードしてきた磁石研究から生まれた技術を商業化し、産業用検査装置や医療機器等のセンサの研究開発・製造をしています。

同社が製造するTMRセンサは、小型、軽量かつ高感度であるため、従来の機器では対応が困難であった、微弱な反応を捉える心磁計としての活用や離れた場所からの異物検知等、医療、食品など様々な産業における検査装置としての活用が見込まれています。

商工中金は、同社の主力販売先である大手企業や技術分野に対して高い専門知識と見識を持つ外部専門家等への入念なヒアリングを行い、綿密な事業性評価を実施。同社製品の活用範囲や技術の有用性を確認。医療分野にとどまらず、食品産業等、様々な分野での活用が期待できると考え、高感度磁気センサの製造設備取得に必要な資金を融資しました。また、本件は、「経営者保証に関するガイドライン」に則り、無保証にて融資しました。

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【スピンセンシングファクトリー株式会社様の概要】

所在地	宮城県仙台市青葉区荒巻字 青葉468番地の1
代表者	熊谷 静似様
資本金	8,050万円
従業員数	9名（2021年8月現在）
設立	2018年10月
業種	高感度磁気センサの開発・製造



【事業領域イメージ】